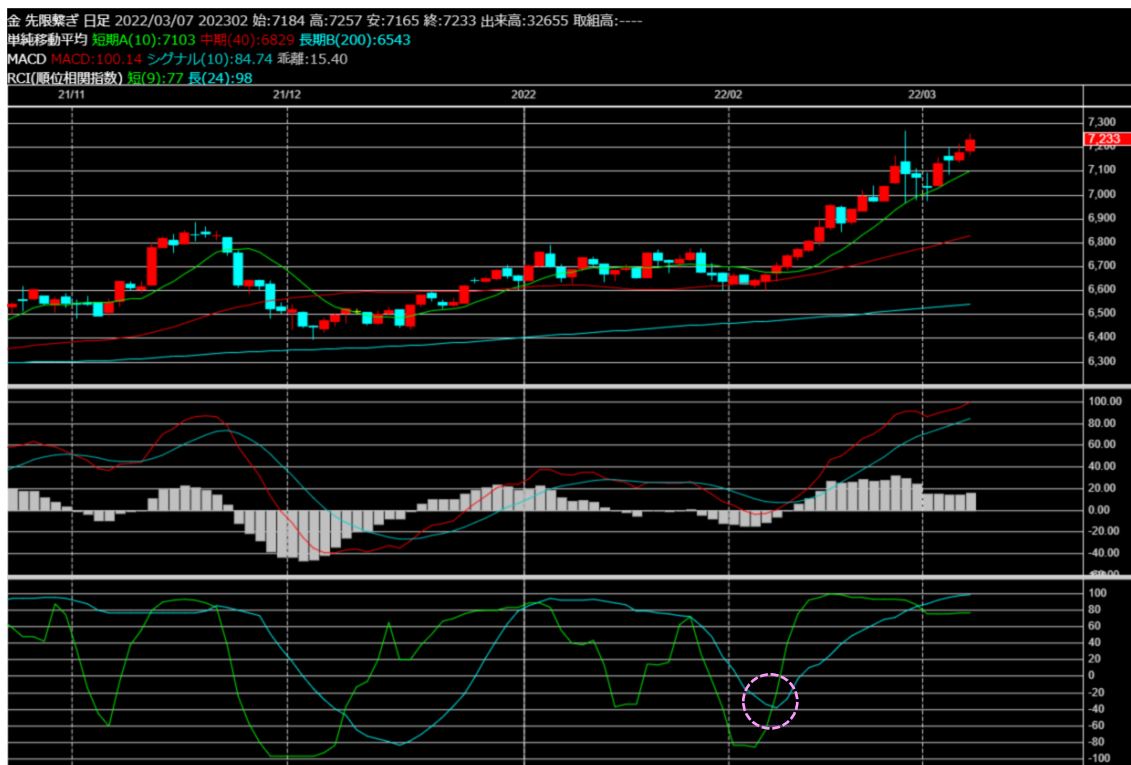


## <金標準先物、首都キエフが陥落するとリスク緩和で金下落に注意・・・>



(出所：オアシス)

ロシア軍のウクライナ侵攻を機に、米国、欧州、日本などが対ロシア経済制裁処置を発表し、ロシア銀行の一部を国際決済機関である SWIFT へのアクセス遮断を受けた原油や天然ガス、小麦やアルミにニッケルなどロシア絡みのエネルギーや鉱物価格が大きく反発している。またパウエル FRB 議長は、半期に一度の議会証言で「0.25%の利上げを提案し、支持する方向に傾いている」と言及し、週末の雇用統計で非農業部門就業者数が事前予想を大幅に上回る 67.8 万人増となったが、平均時給が低下するなどインフレの落ち着いた様子を見せており、パウエル FRB 議長の言及を肯定する内容となっている。

その事で商品価値は高まりを見せ、金融政策では過激な利上げ観測が後退し、金利低下とリスク逃避で金標準先物は先週末に 7257 円まで高値を試すなど、今週に今年の高値 7269 円を上回る可能性は高くなっている。特に今週 10 日に消費者物価指数の発表が予定されており、インフレ指標の上昇を確認する事ができると更なる高値を試す可能性は高まると思える。しかしロシア軍がウクライナ首都キエフに迫っており、キエフが陥落した場合はリスク逃避が一巡し 7100 円に向けた下落には注意が必要と思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** と **シグナル** が上昇し、RCI でも **長期** が上昇し、**短期** も下げ止まっており、オシレーターは高値追いを示唆する動きを行っており安易な売り狙いは避けた方が妥当と思える。ただ **10 日移動平均線** の 7100 円を下回ると 6900 円に向けた調整安が予想される。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 453,000 円(2022 年 3 月 7 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 3 月 7 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>